

市民の皆様へ

令和7年8月

ツキノワグマの注意喚起について(周知)

県内においてツキノワグマによる人身被害の発生や出没が多発しています。
本市においても6月から7月にかけて安曇、奈川地区でクマの目撃が多発しており、クマが集落や農地、観光施設付近に依存し、繰り返し出没していることから下記の点について注意してください。

記

1 注意点

- (1) 身近なところにクマがいることを意識し、クマと「鉢合わせ」にならない工夫をしてください。
- (2) 山や河川敷に入る時は、鈴やラジオなど音の出る物を持ちましょう。「沢沿い」や「山の尾根を越えるとき」は、音が伝わりにくいいため、特に注意が必要です。
- (3) 特に「明け方」や「夕暮れ時」はクマの活動が活発になります。人家付近であっても、外作業する場合は、必ず鈴やラジオなどの音の出るものを携行しましょう。
- (4) 単独で林内へ入ることはできるだけ避けましょう。山菜採り、登山、森林散策、溪流釣りなどをされる際は、できるだけ複数人で行動することが大切です。

2 誘因物の除去

- (1) クマは、誘引物に対し強い執着を示し、誘引物を放置しておくとな多数のクマを集落へ近づけてしまいます。
- (2) 誘引物の管理を徹底し、できるだけ除去してください。生ごみなどを野外に放置すると、クマを誘引することに繋がります。誘引物として養蜂箱、農作物、廃果、養魚、家畜飼料、家庭ゴミ、バーベキューなどの残渣、油性塗料、調理油、果実酒、罠にかかった動物などがあります。

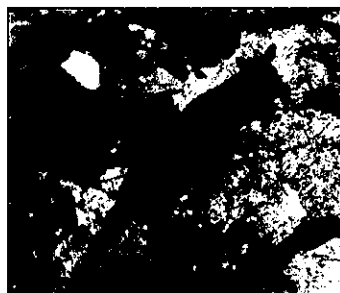
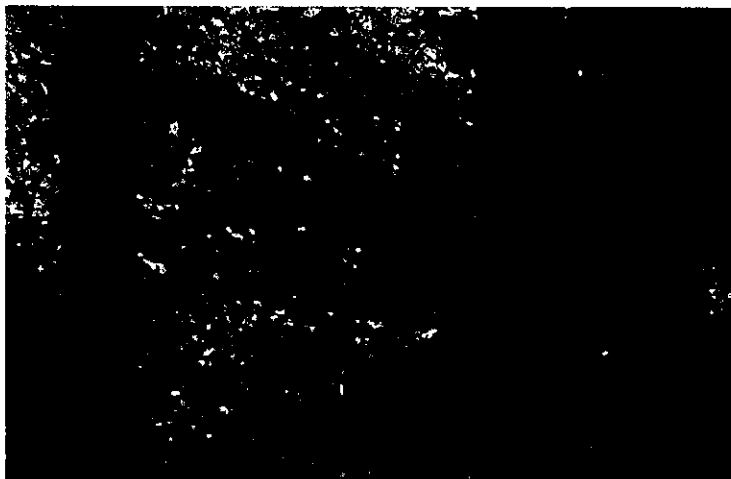
3 出没防止の対策

- (1) 養蜂や養魚場、農地などにクマが依存する事例が多く発生しています。誘因物の除去や電気柵の設置など、クマが出没しにくい環境づくりをお願いします。

発 行
松本市 森林環境課
電話78-3003(直通)

(裏面あり)

クマのことを知って、クマと出会わないようにしましょう
8月～10月は「行楽」や「きのこ採り」でクマと遭遇する危険性が高い期間です！

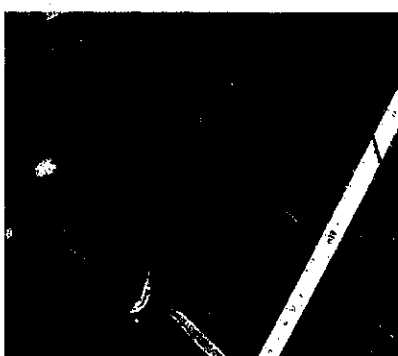


注意！
黒いですが、
これはカモシカで

クマの痕跡(フィールドサイン)を
見つけたら、入山は控えましょう



クマの足あと



山の中で見つけたクマの糞(フン)



クマのツメあと



クマが木に登って食べたあと(クマだな(糞))



木のウロにできたハチの巣を取ろうと
して木の皮をむいたあと



木の根元のアリの巣を食べようとして
土を掘り返したあと

クマに出会わないようにするために

山や森林は、「クマの生息域」です！
山に入る時や山沿いを歩く時には、必ず「鈴」や「ラジオ」、笛などの音の出るものを持ちましょう。
溪流沿いや風の強い時などは、クマに音が聞こえていないことがあるので、注意が必要です。

クマに出会ってしまったら

クマに襲われないように、クマの動きを見ながら、ゆっくり後ずさりしましょう。
追払おうとして石を投げたり、大きな声をあげると、クマを刺激してしまうのでやめましょう。